

平成29年度 平塚江南高等学校 不祥事ゼロプログラム実施状況

1 項目・目標別実施結果

項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止）	公務員として法令遵守意識、倫理意識の向上・徹底を図り、公務外非行を防止し、県民の信頼に応える。	<ul style="list-style-type: none"> ・県の「職員行動指針」を周知徹底し、「職員の事故・不祥事防止3か条」を励行した。 ・教育長通知、新聞報道及び職員啓発資料を活用して、教育公務員としての倫理意識の徹底と法令順守意識の向上を図った。 ・風通しの良い職場づくりのために、職員間のコミュニケーションを重視するとともに、複数チェック体制を確立した。 ・目標は概ね、達成した。
(2) わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ行為による不祥事を根絶するとともに、セクハラ行為のない職場環境をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員啓発資料等を活用し、わいせつ、セクハラ、パワハラ行為を未然に防ぐよう意識啓発と注意喚起を行った。 ・様々な機会を通じて生徒や職員に対して、相談窓口の周知を徹底し、被害者の人権を最優先に対応できる体制を確立した。 ・目標は概ね、達成した。
(3) 体罰、不適切な指導の防止	生徒への体罰、不適切な指導を根絶する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰及び不適切な指導の防止に向け体罰防止ガイドライン、職員啓発資料等を活用し、意識啓発を行った。 ・生徒の個人情報収集及び校外持ち出し許可手続きについて、事前に関係書類等の提出を徹底させた。 ・様々な機会を通じて生徒や職員に対して、相談窓口の周知を徹底し、被害者の人権を最優先に対応できる体制を確立した。 ・目標は概ね、達成した。
(4) 入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを活用しながら、適切な実施に向けて事故防止の徹底を図った。 ・入学者選抜委員会で何度もシミュレーションを実施し、複数職員によるチェック体制を確立し、校内研修を行いながら、事故防止に努めた。 ・目標は概ね、達成した。

<p>(5) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止</p>	<p>成績処理及び調査書発行等進路関係書類に係る事故を未然に防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査書の発行、通知表、成績処理に係る事故の未然防止について意識啓発を行った。 ・定期試験の実施、通知表の作成、成績処理等については、教務グループを中心とした、複数による点検体制のもと、円滑に遂行した。 ・調査書、推薦書の発行については、進路指導グループと当該学年が連携して取組み、複数による点検体制のもと、事故防止に努めた。特に、調査書の作成においては、早い段階から計画的に取り組むなど工夫を図った。 ・目標は概ね、達成した。
<p>(6) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策</p>	<p>個人情報等管理を徹底し、個人情報の漏洩や不正利用、紛失や誤廃棄等などの事案の未然防止に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の適切な管理、USBメモリ等の記録媒体の管理とともに、様々な機会を通じて適正な扱いについて徹底を図った。 ・電子メールやSNSに係る不適切な使用を防ぐ具体的な手立てを講じるとともに、職員全体で共通理解を図った。 ・USBメモリの管理については、事前申請を徹底させ、事故防止につなげた。 ・目標は概ね、達成した。
<p>(7) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守</p>	<p>公務員及び教育公務員としての意識を高め、交通事故・法規違反を未然に防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全・交通法規の遵守について、時機をとらえて、職員啓発資料、教育長通知及び新聞記事などを活用して注意喚起に努め、事故防止の徹底を図った。 ・目標は概ね、達成した。
<p>(8) 会計事務等の適正執行</p>	<p>公費、私費ともに、会計処理上の事故・不祥事を未然に防止する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会計処理、特に私費会計について、複数チェック体制を徹底させ、迅速で適正な会計処理を行った。 ・私費会計基準の遵守に向けて、全職員対象の事故防止会議において、職員啓発資料やマニュアルなどを配付し、会計処理や現金の取扱いについて理解の徹底を図った。 ・目標は概ね、達成した。

2 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況に関する校長意見

事故・不祥事防止に関しては、様々な機会を通じて「不祥事防止職員点検啓発資料」などを活用し、注意喚起を行ってきた。しかし、業務の多様化と量の増加から、思わぬ

ミスは生じがちであり、常に緊張感と危機感を持って、業務を執行することが必要である。働き方改革を踏まえた業務の精選、職員相互の日ごろの業務内容のチェック体制の徹底、事故・不祥事の未然防止に向けて、更なる組織的な取組みが重要であると考え。職員間のコミュニケーションを豊かにしながら、風通しの良い職場環境づくりを目指し、公務外も含め、教育公務員として、法令遵守、倫理意識の向上と徹底を図る必要がある。

3 平成30年度に取り組むべき課題

事故・不祥事は、他校等で起きた事案についても、他人事と捉えず、自らのこととして感じ、考え、想像力を働かせ、共感しながら、未然防止に向けての取組を徹底することが重要である。次年度においても、職員一人ひとりが、事故・不祥事防止を自分の問題として意識し、率先して行動できるよう、日常的で身近な複数の課題をテーマとして取り組む。特に、入学者選抜試験時における事故防止の徹底については、引き続き最重要課題として捉えつつ、他の課題についても、情報共有を図り、注意喚起の機会と方法を工夫し、粘り強く継続した未然防止の取組みを遂行して行く。